

放課後等デイサービス事業所における自己評価表（公表）

厚生労働省が定める「放課後デイサービスガイドライン」のもとに、提供するサービスの質について職員で評価、点検し、今後も提供するサービスの向上に努めていきます。

公表：令和元年12月5日

事業所名 スマイルジャンプス

	チェック項目	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	設置基準には満たしておりますが、ダンス等、活動をする際には安全に配慮していきます。
	職員の配置数は適切であるか	必要とされる配置数で、保育士、幼稚園教諭、ダンス指導員、特別支援教員等、専門職を配置しています。
	事業所の設備等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか	段差などがある箇所はありますが、声かけや支援をしていきます。 床にコルク素材を敷き、安全にダンスができるようにしています。
	事業所内の安全対策が十分とられているか	
	事業所内は常に衛生的な状態にたもたれているか	清掃、消毒をおこなっています。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	随時、振り返り、目標設定の実施をおこなっています。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者に向けてアンケート調査を実施し、今後の業務改善につなげていきます。
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開します。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	必要に応じて検討中です。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修への案内や参加の機会を設けています。
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者のニーズ、子どもの状況を把握して計画期間ごとにアセスメントをして個別の支援計画を作成しています。
	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	
	活動プログラムの立案を職員で検討しているか	毎回、職員と検討を重ねています。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	ダンスの中では、新曲やプログラムに変化をつけながら活動をしています。また、調理や工作、ゲーム、誕生会などの活動も取り入れています。
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	職員間で情報共有をおこない、支援につながる話し合いをしています。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録をとり支援の検証、改善につなげています。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年ごとに個別の指導計画の見直しを実施しています。
関係機関や保護者との連携	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	職員全員が子ども達の状態を把握して、チームで支援をしています。会議には児童発達支援管理責任者が参画しています。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校の担任の先生や、放課後児童クラブの先生方を通じて、情報共有をおこなっています。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	保護者の方、主治医等の意見をお聞きして検討していきます。
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在、当事業所に該当者はいませんが、障がい福祉サービス事業所等へ移行する際には当事業所でおこなった内容の情報提供をします。
	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	大阪市発達障がいセンター等の研修会に参加しています。
放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	利用者全員に画一的に実施はできませんが、夏休みの期間中や、地域でのダンスの発表などで、今後も交流ができる機会をつくっていきます。	

	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	今後も連絡帳や電話、メール、送迎時等に保護者の方と伝え合い共通理解ができるように努めていきます。
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明をおこなっています。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	今後、保護者の方とは懇談等を通じて相談や必要な助言や支援ができるよう、また、保護者同士が連携できるように努めていきます。
	保護者同士が連携できるような支援をしているか	苦情があった場合には迅速かつ適切に対応していけるように努めます。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	ホームページ等や紙面にて発信しています。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	個人情報などが記載されているものは、鍵がかかる場所に保管しています。
	個人情報に十分注意しているか	視覚的情報などを活用して、意思の疎通や情報伝達等をおこなっています。
	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	今後もダンスの発表を通じて地域との関係を大切にしていきます。
	地域に開かれた事業運営を図っているか	緊急時対応マニュアルを策定しています。保護者の方にも周知できるようにします。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	定期的な訓練ができるようにします。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に研修できるようにします。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	全てのお子様にアレルギーの有無を確認しています。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットがおきた場合、報告書を作成し、職員間で共有をしています。